

形を変えてつなぐPTA活動

文化委員会では、保護者の皆様の研修と相互理解を目的とし、例年はバスツアーを実施していました。しかしコロナ禍により2年間実施することができずにいました。そこで、今年度は何か違う形で実施しようと、去年の秋から考えてきました。

そして今回、世界で活躍されている、本校卒業生のダイキさんにお越し、イリュージョンマジックショーを開催していただけることになりました。

ダイキさんは国内外で年間300ステージ以上の実績、最近ではテレビ出演も多数されています。そんなお忙しい中でも、子供会や小学校など身近な場所でもショーや講座を開かれ、今回も「同朋のためなら」とお時間を作ってくださいました。

最初から最後までドキドキワクワクの連続で、一瞬たりとも目を離すことができないパフォーマンス！こんなに近くで観ることができるなんて、本当に贅沢な時間でした。

また、校長先生が冒頭の挨拶で仰っていたように、

ダイキさんの人柄がにじみ出た優しくあたたかいショーでした。参加する幼い子どもたちを見て、娘もあんな頃があったなあと感じたり、同朋を卒業してダイキさんのようにやりたいことができているといいなあと思ったり、涙腺も緩みがちでした。

更に見に来られていた恩師の先生とダイキさんのあたたかい空気感に、同朋高校の素晴らしさを実感しました。社会に出ていろいろなことに挑んでいくのに、母校が力になっているのだと感じ、改めて高校3年間の大切さ、ありがたさを感じました。

形を変えての実施で、どうなるか不安もありましたが、本当に素晴らしい時間を過ごすことができました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

PTA文化委員会一同



学校通信 生徒会の活動について

2022年度前期生徒会執行部

- 会長 206 富田 結太
- 副会長 209 坂口 莉央 213 小出 若菜
- 執行委員 209 石川 拓実 106 加藤 美咲
109 栗本 悠羽 110 栗本 七菜子



公約から活動していること

- | 支援活動 | 行事 | 意見集め |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● エコキャップ回収 ● ペルマーク集め ● 文房具集め ● 募金活動(計画中) | <ul style="list-style-type: none"> ● 文化祭「ぴーす〜帰ってきた文化祭〜」
本部企画に関わりながら、2年ぶりの文化祭大成功へ! ● 壮行会
全国大会や国体に出場する選手を知ってもらいたい。全校生徒で祝福・応援できるよう、動画にすることにしました | <ul style="list-style-type: none"> ● 制服改革
全校生徒アンケート実施!他校でも様々な形があり、同朋高校にとってどのような形がふさわしいのか、見直していく必要があると考えています ● デジタル意見箱設置
困っていること、聞きたいことがあったらみなさん利用してください!! |

Schedule [行事予定]

11月	4日 金	漢字検定
	5日 土	オープンフォーラム 1・2年ベネッセ総合学力テスト
	9日 水	生徒会立会演説会
	11日 金	数学検定
	12日 土	学校説明会、音楽科体験入学
12月	13日 日	全商ビジネス計算実務検定
	24~12月1日 木~木	期末考査 (3音については4日間)
	26日 土	学校説明会
12月	27日 日	全商ビジネス文書実務検定 全統プレ共通テスト
	28日 月	(学園研鑽日)
	1日 木	報恩講
	3日 土	PTA常任委員会
4~9日 日~金	3年音楽科修学旅行	

12月	5~19日 月~月	午前授業
	8~11日 木~日	修学旅行第1回 1年「命・人権・DV」講演
	9~12日 金~月	修学旅行第2回
	10~13日 土~火	修学旅行第3回
	14日 水	3年自主活動日
1月	16日 金	1年自主活動日
	18日 日	全商ビジネスコミュニケーション検定
	20日 火	終業式
	10日 火	始業式
	14・15日 土・日	大学入学共通テスト、英語検定
	16日 月	推薦入試
	20日 金	見真の日
	21日 土	1・2年ベネッセ総合学力テスト 1年MP
	22日 日	全商簿記実務検定
	23日 月	一般入試
24~30日 火~月	卒業試験	

1月	28日 土	PTA常任委員会 1・2年保護者進路ガイダンス・ 学級懇談会
	29日 日	2音修学旅行説明会 数学検定 全統共通テスト高2模試 看護医療基礎力判定模試(1・2年) 全商情報処理検定
2月	31日 火	第54回卒業演奏会
	5日 日	全商商業経済検定
	10日 金	漢字検定 (建国記念の日)
	11日 土	2年MP
2月	17日 金	卒業式リハーサル
	18日 土	卒業式
	21~27日 火~月	2音学年末考査
27~3月3日 月~金	学年末考査	

同朋
和敬

11

学校通信

Doho High School Community Press
Vol.227 9 NOV 2022

同朋高等学校
学校通信編集委員会 宇佐美・石塚

名古屋市中村区稲葉地町7の1
TEL 052-411-1159

同朋 和敬

文化祭特集

Doho High School Community Press

11

Vol.227
学校通信



※撮影の為、マスクを外している写真もあります。

2年ぶりの文化祭であった。今年の文化祭には、昨年開催できなかったフラストレーションを爆発させたかのようなエネルギーを感じた。今の世の中、どんどん便利になるにつれ、人と人との関係が薄れていっている。そういう中だからこそ、人と人が生身でぶつかり合い、協力し合い、ひとつのものを創り上げることの素晴らしさを感じられる文化祭を行うことには、とても大きな意味がある。一人ひとりの力・存在が組みあい、響きあい、支えあってできあがった文化祭。最後にはみんなで「ピース！」笑えただろうか。

同朋高等学校長 滝 敏行



201 2年生 つくる ～創造～部門

TOY STORY ～201へさあゆくぞ!～

佐藤 幹太 (名古屋市立滝ノ水中学校出身)

初めての文化祭、僕はとてもわくわくしていたのと同時に不安もありました。僕たち201は、メリーゴーランドという大規模なものを作ろうと、夏休み月上旬から着々と準備をし、装飾から作り始めました。しかし、夏休み中に人がたくさん集まる訳もなく、不安でいっぱいでした。2学期が始まってからはクラスのみんなが協力してくれて、温かい気持ちになりました。みんなそれぞれ自分ができることを積極的にいき、完成へどんどん近づいていくのが嬉しくて、完成した姿を早く見たいと思っていました。先生とも協力して完成させるために、簡易的な模型を作ったり、ホームセンターでたくさん試行錯誤を繰り返したりなど、大変な作業をやりきれたからこそ作品ができあがったのだと思います。その過程でクラスが一体となっていったと思います。わからないところがあれば友達を頼ったり、一緒に考えたりするなどお互いに助け合っている様子を見ると、仲が深まっているのかなと感じました。

文化祭当日、できあがったメリーゴーランドをみんなで見た光景は今でも鮮明に覚えています。長い時間をかけて作り上げたこのメリーゴーランドは、良い思い出になりました。ほかの生徒がたくさん乗りに来た時は、嬉しくて嬉しくて、ついにやにやしてしまいました。生徒だけでなく先生や保護者の方々まで遊びに来てくださり、審査員の方々からアカデミー賞までいただいて、とても光栄でした。この文化祭を通して一番思ったことは、やっぱり201のみんなが優しくて元気でとても良い子ってことです。準備期間も頑張ったり、アカデミー賞を手に入れた時も全員で喜び合ったり、幸せを一緒に共感できるクラスで委員長として関わることができて、本当に嬉しい幸せです。まだみんなとたくさん思い出が残せる生活を送っていきたくて心から思っています。

103 1年生 つくる ～創造～部門

Las Vegas

大橋 りお (津島市立神守中学校出身)

7月下旬、蝉の鳴き声が響き渡る猛暑の中、文化祭の準備が始まった。私たちのクラスのテーマは「カジノ」。そこから全体像とコンセプトを決め、それぞれの役割が与えられた。私は企画全体を見る「まとめ」という役割。そして、この文化祭の準備中に、様々な問題が起きていく。私と同じ役割で、全体のバランスを見て指揮をとってくれる友達が怒られていたり、結局使わなかったものがあったり、または全然準備が進まなかったりした。先生や友達とぶつかり合うこともあり、正直途中でやる気を失くしかけたこともあった。

でも文化祭準備がおわり、いろいろと振り返ってみると、私自身にも悪かった部分が見えてきて、皆もそれぞれ103のカジノを成功させようと必死で頑張ってくれていたと思えた。すると、とてもみんなに申し訳ない気持ちになり、心の底から「ありがとう」と伝えたいと思った。

そして文化祭当日、ありがたいことに103のカジノはとても繁盛していた。みんなそれぞれの仕事に手が回らないぐらいに盛り上がり、私はその様子を見て、思わず友達とハイタッチを交わした。みんなそれぞれ生き生きとした顔でそれぞれの仕事に取り組んでいて、それを見ていた私まで自然と笑顔になれた。

やがて、3日間の文化祭が終わり、アカデミー賞発表の時、全員が自分の手を握り合わせ、祈りながら1年生部門の発表を待っていた。そして、教室のスピーカーから「アカデミー賞は…、103Las Vegas!」と発表された。活気に包まれていたあの瞬間はこの先ずっと忘れられないと思う。



帰ってきた文化祭

文化祭生徒実行委員長 206 富田 結太 (名古屋市立豊正中学校出身)

皆さん、文化祭は楽しかったですか?今年のテーマ「ピース～帰ってきた文化祭～」には「平和のピース (peace)」「パズルのピース (piece)」「笑顔のピース」という意味が込められており、どのクラスも、テーマに沿って考え、夏休み前から一生懸命準備したことで文化祭を盛り上げられたと思います。文化祭準備で大変だったこと、辛かったこと、楽しかったこと、いろいろな経験をしながら文化祭を迎えました。特に3年生は最後の文化祭にける思いがとても強く伝わってきました。再演で演劇とパフォーマンスを見たとき、凄くドキドキし、感動したのを今でも覚えています。

また3日目は文化祭実行委員による本部企画がありました。「レイウのヤマイ」をテーマに「凶鑑の作成」「取材」「体験コーナー (VR体験・老人体験・車イス体験)」を行いました。普段できない体験をし、私自身の普段の生活がどれだけ過ごしやすいかを知ることができました。みんなで力を合わせてひとつの企画を作り上げたことで、かけがえのない思い出になりました。一人ひとりが頑張ったからこそ素晴らしい文化祭ができたと思います。文化祭で築いたクラスとの絆をこれからも深めていきましょう。本当にありがとうございました。





思いを伝えるということ

304 田中 希乃花 (桑名市長島中学校出身)

私は高校生活をダンス部で過ごしてきてよかったと、今晴れ晴れした気持ちでいっぱいです。

ダンスが大好きで入部しただけの私でしたが、2年生後期からは部長になりました。やっていけるか不安でした。ダンス部では「部長＝嫌われ役」というイメージがあります。「普段はみんなのお手になる身だしなみを。ステージではかっこよくド派手に。」と部内で決めて行動しています。これを部全体で守っていくのはなかなか大変なことですが、後輩にも同級生にも言って守ってもらわなければならない、それが部長だと思って頑張りました。いろいろありました。途中で辞めたいと顧問の先生に泣きついたことも数えきれません。

本番前日の夕方のことです。「明日本番なのにそんなんでいいの？」全員輪になって厳しく注意されました。時間を守れない、身だしなみがちゃんとしていない…。糸がプツンと切れました。リハーサルもできず、放心状態でした。一度みんなが呼びに来てくれたけれど行けません。今度は「気づくの遅かった。」や「部長の立場がすごく大変なことをわかっているのに、自分たちばかり好き放題やってた。」と一人ずつ話しに来てくれました。明日への思いやこれまでの反省、謝罪を聞きました。「私ばかり」と不満がどんどん大きくなって



1対1で話すことを避けてしまっていたけれど、話しに来てくれたことで、自分の頑張りが伝わっていたことを知りました。そしてみんなと最後のステージを成功させたいと心から思うことができました。これまでの全部をぶつけよう！そう思いました。

当日は大雨となってしまう、ギリギリまでやるかどうか迷いましたが、雨の中でも「楽しんでもん勝ち！」と3年生で決め、1・2年生もついてきてくれました。雨の中でもたくさんの人に見てもらうことができ、本当に幸せでした。やらせてもらえて本当に感謝しかありません。

D-TOPのみんな、楽しかったよ。こんな私を部長でいさせてくれてありがとう。たくさん助けてくれてありがとう。やっぱりDDCは最高です。

PTAバザー報告

これまで、焼きそば(事業委員会)、喫茶コーナー(文化委員会)、物品バザー(生活指導委員会)、唐揚げ(地域懇談委員会)をPTAバザーとして実施をしていました。しかしコロナ禍のこの2年間は実施できず、今年は何とか例年通り実施したいと思いつつ、コロナ感染対策のため飲食物の販売は断念し、何を実施するかからの議論となりました。その結果、お菓子のすくい取り(事業委員会)、専門学校や専門店とのコラボしたお菓子販売、(文化委員会)、物品バザー・標準服リユース(生活指導委員会)、お菓子のカプセル釣り(地域懇談委員会)を実施しました。

前日には保護者の皆さんがテキパキと準備をし、文化祭当日も本校生徒や来場された方々と笑顔で対応するなど、文化祭を支えていただきました。また生活指導委員会では、各家庭からご提供いただ

た品物や標準服リユースのお陰で当日のバザーを迎えることができました。ご提供いただいた皆様には感謝いたします。

そして終了後には「まとめの会」を開催しました。各委員会からのバザー売り上げ報告などがなされ、最後は全員で集合写真を撮り解散となりました。なお収益については専門委員会合計で167,501円となりました。この収益金につきましては今年も生徒の学校生活に必要な備品購入などに使わせていただく予定です。

皆様のおかげで無事に今年の文化祭バザーを終了することができました。PTAの役員、常任委員の皆様にはバザーの準備から当日の運営、後片付けまでご協力いただき、本当にありがとうございました。

総務 林 雄二

2022年度 地域懇談会報告

2022年度地域懇談会を県下23会場で、6月25日(土)～7月10日(日)の土日に行いました。昨年度は、「懇談会をメインとして実施をする」という方針を受けて、シンプルな懇談会を開催する地区が多くありました。今年度は、各地域が工夫を凝らし、進路相談や卒業生の講演、心理カウンセラーの講演、カラーセラピーやヨガと多種多様な企画で開催されました。参加者は、現役保護者167名と教職員・ゲスト・保護者OB・生徒・卒業生を合わせてのべ270名となりました。多くの方に参加いただいたことで、保護者と教員が繋がり、ざっくばらんに話をするのでお互いの不安を解消でき、よりよい学校作りへとつながる時間になったのではないのでしょうか。さまざまな立場の人たちがお互



いに気楽に話ができることが地域懇談会の魅力なのだと思えました。

保護者代表 PTA地域懇談委員会委員長 大田 理香
教員担当者 柘植さとみ 石塚亜衣 坂井 柚香

地域懇談会で出された感想(一部抜粋)

- ・初めてでまだ慣れていないことだらけなので緊張しましたが、話ができよかったです。(港西)
- ・参加してよかったです。兄の時もわからないことが聞けたので、参加してみればよかったですと後悔です。(海部南部)
- ・これからも地域懇談や父母懇活動が続けていくことによって、親もたくさんの人との繋がりを持たせる場を作り続けてほしいです。(海部東部)
- ・先生方や卒業生とお話ができるすごく有意義な時間だと思うので、もっと沢山の方が参加すればいいのに…と思います。(中川A)
- ・他の保護者の方のお話が聞けて、大変参考になります。学校好きな子の保護者の方々だけではなく、時々問題が発生して行きたがらなくなる子の体験談なども聞けて大変参考になります。(中川C)
- ・もっと進路の話も親子でしたいなあと思いました。とても良い時間でした、ありがとうございます。(津島・愛西)
- ・地域懇談会は先輩や同級生の方と繋がって、ちょっと気になったことや、学校に聞く程でもないような事聞ける良い機会なので、これからも続けたいと思います。(南・知多)

2022年度 秋の「助成金拡充請願」活動について

今年度も、『オータムフェスティバル(県民文化大祭典)』を県下39会場で開催しております。各会場で県会議員の方にご登壇いただき、愛知県や市町村の「助成金拡充請願」についてもご理解をいただいております。本校では、担当会場となっている12会場を中心に、生徒、保護者、卒業生とその保護者、本校教職員、また他私学関係者や市民とともに、準備・運営を進めております。

今年度は、一昨年度実現した年収720万未満世帯までの無償化制度が維持され、経常費助成は生徒1人あたり約5,000円増額されました。一方で、年収720万

以上の世帯には依然として学費負担が残っています。今年の運動は、現制度の素晴らしい部分を守りながらも、さらなる助成金制度の拡充を目指すものとなっています。また、コロナによって子どもたちが奪われてしまったさまざまな活動の場を新たに創り、つながりの中で成長を実感できる機会にしたいと考えています。

最後になりましたが、オータムフェス運営協力券の普及、これまでの会場へのご参加・運営など、多くの力添えをいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

同朋学園 助成金推進協議会 武久 英人

部活動の紹介

放送部

自転車啓蒙作品で、全国大会16回出場!

放送部は、7月に第69回NHK杯全国高校放送コンテストで、10回目の全国大会出場(他の大会を入れると16回目)を久しぶりにはたしました。そもそも6月実施の愛知県大会には、4部門で参加(ラジオドキュメント・テレビドキュメント・ラジオドラマ・テレビドラマ)しましたが、その中で予選・決勝に残ったテレビドキュメント部門「自転車の乗り方、大丈夫?」が県最優秀賞(第1位)となり、全国大会出場を決めた時の喜びは、例えようがありません。



- 202 高橋 ひなこ (名古屋市立天白中学校出身)
- 208 佐藤 羽琉 (春日井市立中部中学校出身)
- 205 五島 万結 (名古屋市立東星中学校出身)

そもそもこの作品は、私たち高校生は自転車を身近に使うからこそ、気を付けたい自転車の乗り方について注目した映像作品です。きっかけは、「未成年者が坂道でブレーキを踏まずに自転車で女性をはね、9,500万円の賠償請求をされた事件」があったことです(新聞記事)。ルールやマナーを理解しない人が運転することで、このような事故が増えてしまうでしょう。しかし、多くの人が無意識にしてしまう違法行為をふくめて、徹底して取り締まられていない行政や警察にも責任があるのではないかと、また私たち高校生も法律を守る以上に自主的に考えて行動することも必要ではないか…ということも訴えたくて制作したのがこの作品です。

私たちは、次の大会に向けて新たな作品を制作しています。2年連続で全国大会出場できるように頑張りたいです。皆さん、ご協力・応援よろしくをお願いします。



サッカー部

サッカー部で学んだこと

僕はサッカー部のキャプテンをしていて、同朋高校を全国大会に導くために日々努力をしています。

同朋高校のサッカーは選手が自分で考えてプレーをするスタイルです。自由にプレーができるということです。しかし自由と言っても好き勝手にやっている訳ではありません。その場でいろんな選択肢を持ってその場で判断してプレーしてもよいということです。多くの高校がサッカースタイルや戦術をあらかじめ決めて試合に臨む中、同朋は相手に応じて戦術を変えたりできるのが特徴です。もちろん同朋のスタイルが一番がよいという訳でもなく「自分で考えてプレーできる」という状態は良い方向にも悪い方向にもいってしまうのがメリットでもありデメリットでもあります。

僕がサッカー部に入ってから学んだことの一つに複数の選択肢を持つということがあります。きっかけはキャプテンという立場になってからです。キャプテンになるまでは監督や先生がおっしゃったことが絶対だと思って自分の意見が言い出せずにいました。しかしキャプテンになって監督たちとコミュニケーションをとるようになり、監督の指示が一つのアイデアなんだと思うようになりました。それから自分の意見も言えるようになりチーム内でもいろんな思考が生まれ、複数の選択肢や自分では気付かない角度からの視点を持つことの大切さを知りました。多くの考え方があるからよりよい方向を見つけ出すことができます。

学んだことの二つ目は「感謝」です。これは誰もが知っていて当たり前のことです。しかし当たり前すぎてなかなか気付けないものでもあります。

- 302 中嶋 隼斗 (名古屋市立南陽中学校出身)

両親の場合だったらスパイクが壊れても買ってもらえる、朝昼夜ご飯が用意してある、服を洗濯してくれる、サッカーをやらせてくれる。ほかにもいろいろあると思います。しかし僕がその感謝を改めて感じたのは3年生時監督が当たり前のことを当たり前のようになっているところを見た時でした。監督だったら相手高校のチームの練習試合を組んでくれたり夕方遅くまで練習をさせてくれたり、県を超えた遠征まで組んでくれます。それは当たり前のようないことで当たり前ではないということに気がきました。選手権という引退がかかった試合で感謝を忘れずにいろんな人に恩返しができるようなプレーができればなと思っています。

これから選手権に向けてチーム全員で切磋琢磨してキャプテンとして精一杯頑張っていきたいです。



Club&Award News

生徒の活躍(2022年4月27日~9月25日)

■柔道部

第76回愛知県高等学校総合体育大会

- 女子52kg級 第2位 菊池 律杏 (302) ⇒ 東海大会出場
- 女子52kg級 第3位 白根 小雪 (208)
- 女子70kg級 第2位 小澤 このみ (308) ⇒ 東海大会出場
- 女子78kg超級 第2位 岡田 彩花 (212) ⇒ 東海大会出場
- 女子団体 第3位 ⇒ 東海大会出場
- 男子100kg級 第3位 小池 倅之介 (312)

令和4年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 愛知県予選

- 女子52kg級 優勝 菊池 律杏 (302) ⇒ 東海大会出場
- 女子78kg超級 第3位 岡田 彩花 (212)

■陸上競技部

第76回愛知県高等学校総合体育大会 名南支部予選会

- 女子ハンマー投げ 第5位 小林 香凜 (213) ⇒ 県大会出場

令和4年度愛知県私学祭体育大会

- 女子ハンマー投げ 第5位 小林 香凜 (213)

令和4年度愛知県高等学校新人陸上競技大会 名南支部予選会

- 女子ハンマー投げ 第4位 小林 香凜 (213) ⇒ 県大会出場 第11位
- 第6位 丹羽 奏帆 (104) ⇒ 県大会出場 第13位

■男子サッカー部

第76回愛知県高等学校総合体育大会 ベスト16

第19回東三河サッカーフェスティバル U-17カップ戦部門 優勝

■女子テニス部

令和4年度名古屋南地区高等学校テニス選手権大会

- ダブルス 1年生の部 準優勝 飯田 凪咲 (104)
- 伊東 真里 (106)

■女子バスケットボール部

第76回愛知県高等学校総合体育大会 名南支部予選 第7位

第76回愛知県高等学校総合体育大会 ベスト16

■バドミントン部

令和4年度愛知県高等学校新人体育大会 名南知多支部予選会

- 個人戦女子シングル 第3位 廣瀬 結 (108) ⇒ 県大会出場
- 個人戦女子ダブルス 第3位 廣瀬 結 (108) ⇒ 県大会出場
- 来 美咲 (203) ⇒ 県大会出場
- 個人戦男子シングル ベスト16 山本 鈴牙 (203) ⇒ 県大会出場

■ラグビー部

第76回愛知県高等学校総合体育大会名南知多支部予選 優勝

第76回愛知県高等学校総合体育大会 第3位

とちぎ国体(第77回国民体育大会) 愛知県代表選手として出場決定

- 福留 斗生(305) 結城 遥斗(303)

■女子蹴球部

第76回愛知県高等学校総合体育大会 第3位

令和4年度愛知県高等学校女子サッカー大会 準優勝

■放送部

第69回NHK杯全国高校放送コンテスト 愛知県大会

テレビドキュメント部門 最優秀賞

第69回NHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会

テレビドキュメント部門 準々決勝進出

■美術部

吉川 倫太郎(304)

日本国際ポスター美術館主催

第21回全国高校生ポスターコンクール

入選

■文芸部

山本 光姫(101)

コトバ・スラム・ジャパン 第3位

■なぎなた競技

宇佐美 空虹(202)

第76回愛知県高等学校総合体育大会

個人の部 第2位

第69回東海高等学校総合体育大会

女子個人試合 ベスト16

令和4年度全国高等学校総合体育大会

女子個人 出場

とちぎ国体(第77回国民体育大会)

愛知県代表選手として、少年少女・団体

試合に出場決定

■音楽科

山川 寧々(114)

第49回日本ギターコンクール

高校生部門 協会賞・金賞

■ボディボード

國武 寧々花(104)

2022年JPBAツアー第3戦

URBAN RESEARCH TAHARA PRO

JUNIORクラス 優勝

愛知県高等学校職業教育技術顕彰を受領しました

愛知県には、職業資格の取得を通し、技術・技能の習熟、目的意識をもって充実した学校生活を送り、将来にわたり豊かな職業生活を営むことを目的とした技術顕彰制度があります。

本校からも日頃の学びの成果が実り、高度な資格を複数取得した商業科3年生の生徒に対し、愛知県知事より愛知県職業教育技術顕彰が授与されました。

顕彰が授与されたことに自信を持ち、これからも学びに真摯に取り組んでもらいたいです。

商業科主任 彦田 大介



愛知県職業教育技術顕彰受領者

芦高 みな	小池 倅ノ介	箕浦 羽奏	加藤 郁音	松尾 美佑	大竹 雅夕	坪井 菜々子
新井 隆太	柴山 桜	三濃川 凜夏	加藤 陽輝	三輪 穂菜	片山 侑那	中村 光翼
猪飼 ゆう	清水 らぶ	宮崎 紗蘭	加藤 龍太郎	森 聖奈	勝田 愛理	浜田 結衣
池田 真優希	下屋敷 由衣	山口 真由	神谷 茉奈	森本 煌	加藤 樹林	日置 菜央
伊藤 羽優	坪井 賢心	山本 宗弥	川口 花恵	安永 千帆弥	木村 唯愛	東爪 大空
伊良波 澄佳	寺尾 華	横山 ひなた	河村 優空	山崎 瑚華	グプタ ガリマ	廣瀬 唯花
岩田 奈瑞菜	中野 夏来	石川 優美	郷原 蓮	横井 一葉	小塚 来夢	前田 響希
牛田 明希	西浦 妃那子	石黒 瑞	小松 詩月	吉川 貴盛	近藤 美咲	松谷 優子
江藤 広翔	原 鼓太郎	伊藤 葉月	立木 綾乃	渡邊 りこ	坂田 裕希	水谷 朱里
小木曾 幸奏	広木 結圭	伊藤 雛梨	田中 里歩	伊藤 大知	坂本 美智瑠	安田 宙央
織田 好海	廣瀬 巴瑠妃	岩田 大輝	辻 渚	伊藤 真矢斗	陣内 遥菜	山岸 柚菜
ODA TIBA GABRIEL	古田 華萌	大石 一輝	西川 琳斗	岩間 梨子	杉本 さくら	山崎 杏子
小野 史登	古田 萌恵	大瀧 紘	細田 陽莉	江場 美咲	田村 圭梧	以上 90名

デザイン特別講義「ミライのデザイン」

商業科では、2年次より、自分の得意分野や自分の能力を伸ばすため、課題研究という授業を実施し、簿記会計・高度情報・ビジネス・デザインからなる4系統の授業を展開しています。デザイン系列では名古屋造形大学から講師をお招きし、高大連携授業を行っています。

4月に名城公園キャンパスに移転した名古屋造形大学には、最新の技術を取り入れたデザイン環境が整っています。

そこで、デザイン系列に在籍する商業科2・3年生の生徒が名古屋造形大学に伺い、大学での学びや高校では触れることができないような最新施設設備を利用した特別授業をしました。

情報表現領域の学生が主に利用するビデオラボでは、クロ

マキー合成などの撮影ができます。また、天井に仕込まれたフルカラーを表現できるLED照明を操作し、夕焼けなどを表現していただきました。パレットタイム撮影ワークショップでは、生徒のスマートフォンを利用し、ジャンプする造形大生をモデルに一斉に写真撮影し、まるで空中で静止しているかのような動画を作成しました。

高校2年間+大学4年間の合計6年におよぶ一貫したデザイン教育が受けられるのは、本校商業科ならではの経験が今後の作品作りに活かされることを楽しみにしています。

商業科主任 彦田 大介



アンサンブル演奏会

後輩と一緒に作りあげた音色とハーモニー

315 松井 菜乃 (名古屋市立御幸山中学校出身)

7月21日、2、3年生で演奏する最初で最後のアンサンブル演奏会が行われました。

管楽器は人数が多く最初は集まることも難しくなかなか全員でアンサンブルをすることができず本番を成功させることができるのかとても不安でした。

しかし、みんなが声をかけ合い放課後の時間を使い素敵な演奏するために意見を出し合うことでみんなで音楽をつくっていると感ずることができました。

本番も今までの不安は必要ないほど楽しく演奏することが

できました。

普段は実技試験に向けて1人で練習することが多く、先輩、後輩関係なく関わることはアンサンブル演奏会では経験できないことだなと思いました。

今回の演奏会は先生方やスタッフの方、カメラマンさんなど沢山の方に支えられたおかげで成功することができたと思います。

これからも感謝を忘れずに音楽を続けていきたいと思いました。



合奏オーケストラ演奏会

表現で心をひとつに

315 林 美羽 (森名市立明正中学校出身)

私たちはミュージカル「CATS」メドレーを披露しました。

1学期に楽曲が決まり、すぐに練習を始めたものの思い通りにはいかず、苦労の連続でした。中でも、歌でありながらセリフを言っているかのように聞かせることが大変でした。そこで、合唱の授業で母音練習を行うことを習慣化しました。始めてすぐには変化が感じられませんが、継続していくうちに、だんだん言葉がはつきりと際立って聞こえるようになっていきました。

さらに、この作品ならではの猫の世界観を表現しなければなりません。歌はもちろんのこと、衣装・表情・歩き方や手の動きなど試行錯誤し、少しでも楽しんでいただけるよう工夫しました。こうした細かな工夫を重ね、みんなで課題を共有し合うことで少しずつ改善されていき、歌にも自信がついていきました。

また、今回も昨年同様一曲だけでしたが声楽専攻ミュージカルコース男子生徒のダンスが加わり、迫力や曲想に差が生まれ彩りを添えました。

そして本番は「合唱ならではの一体感だけでなく、一人ひとりの輝きをも楽しめる」そんな舞台になりました。

今回が3年生にとって他学年と共演できる最後の演奏会です。私はみんなのキラキラした表情をみて、このメンバーで舞台上に立てる幸せを感じながら歌いました。

最後に、合唱・オーケストラ演奏会に関わってくださった沢山の方々に支えられて私たちは舞台上に立たせていただきました。そして合唱・オーケストラ共に素晴らしい経験をさせていただきました。ありがとうございました。

